

(別紙2)

## 2. 目標達成計画

くみのき苑グループホーム

作成日 平成 27年 1月 30日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	54	居室の環境を整える上でカレンダーや時計の設置を行っていない居室がある。	日常生活の演出や認知症の進行を遅らせるために、どのような環境がその方に適しているかを話し合い快適な空間を作る。	入居者の方それぞれが活用しやすく安全な位置に、字の大きさやアナログ・デジタルなどその方に適した時計・カレンダーを設置する。	H27年1月～3月
2	52	リビングスペース内の和室が上手く活用できていない。和室の入り口に段差があり、自発的に使用されることがない。ADLの低下により背もたれが無い場所での座位保持が難しい方が増えている。リビングに設置しているソファは食事の時間以外、常にどなたかが使用されている。	和室も住まいの一部として気軽に使用していただけるように、環境整備や和室でのアクティビティーを形成する。	和室を活用できるように座布団や座椅子など必要物品を整備する。手芸や読書など和室で可能な趣味を提案して実施する。	H27年4月～H28年3月
3	35	災害に向けて避難訓練を年2回実施しているが、さまざまな時間帯を想定して対応できるように職員の理解を深める必要がある。	災害に向けての対応が日頃から身につくように、職員の意識向上を図る。	日々の朝礼で行っている職員間のロールプレイの中で、災害の起こった時を想定したテーマを不定期に継続して実施し、突発的な事態に備える心構えを作る。	H27年4月～H28年3月
4	33	重度化した方の対応が設備面で難しく、入居の継続を希望されても他施設をご紹介する対象となっている。	設備面での限界を理解いただいた上でグループホームでの生活維持を望まれた方に対して受け入れを行えるように、職員の指導や環境作りを行う。	27年度の事業計画に身体介護、認知症に関する勉強会を盛り込み、各階の月間目標の中で住まいや食に関する環境作りに取り組んでいく。	H27年4月～H28年3月
5	2	自治会への加入は実現しておらず、今後の取り組みとなっているが、施設として加入するにあたり自治会の方から求められることに応じていけるのか話し合いを行う必要がある。	地域の方に認知症に対する知識や理解を伝える機会を持ち、入居者の方が地域参加できるよう取り組む。	自治会と加入に対して話をする機会を作るとともに、地域から依頼を受ければ積極的に認知症についての研修を実施する。	H27年4月～H28年3月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。